



(19)

(11) Publication number: **04340160 A**

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN(21) Application number: **03030253**(51) Intl. Cl.: **G06F 15/20**(22) Application date: **25.02.91**

(30) Priority:

(43) Date of application publication: **26.11.92**

(84) Designated contracting states:

(71) Applicant: **TOSHIBA CORP**(72) Inventor: **IWAKI MASAHIRO**

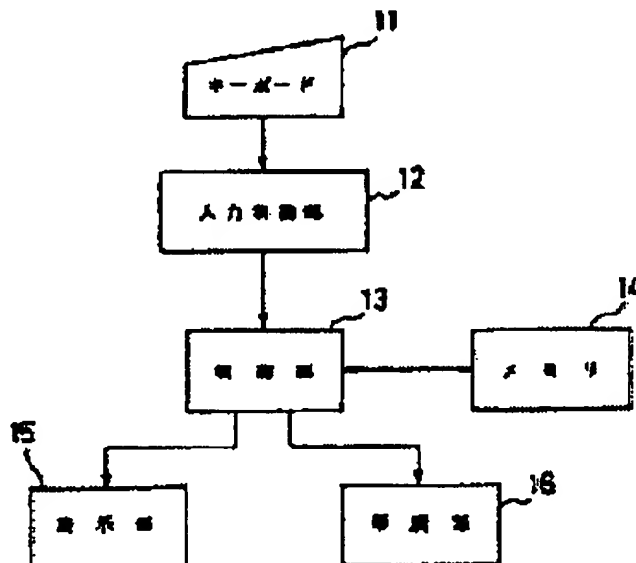
(74) Representative:

(54) INFORMATION PROCESSOR

(57) Abstract:

PURPOSE: To instruct various functions corresponding to user's levels by individually displaying a general function and a specific function on a menu screen and requiring the input of a password for the specific function.

CONSTITUTION: In an information processor for displaying a menu screen having the selection items of various functions and executing the function of a selected item out of the selection items, a general function and a specific function are individually displayed on the menu screen, and when the specific function is selected, the input of a password previously written in an instruction manual for the specific function and the specific function is executed only at



the time of inputting the password. For instance when a PRINT key on a keyboard 11 is depressed to specify a printing function, a control part 13 displays a menu screen on a display part 15 so that printing formats are roughly divided into reference printing and specific printing and either one of them is selected. When the specific printing which is an advanced printing function and requires complex operation is selected, the control part 13 requests the input of the password.

COPYRIGHT:
(C)1992,JPO&Japio

2/2 JAPIO - (C) JPO

PN - JP 04340160 A 19921126 [JP04340160]

TI - INFORMATION PROCESSOR

IN - IWAKI MASAHIRO

PA - TOSHIBA CORP

AP - JP03025391 19910225 [1991JP-0030253]

IC1 - G06F-015/20

AB - PURPOSE: To instruct various functions corresponding to user's levels by individually displaying a general function and a specific function on a menu screen and requiring the input of a password for the specific function.

- CONSTITUTION: In an information processor for displaying a menu screen having the selection items of various functions and executing the function of a selected item out of the selection items, a general function and a specific function are individually displayed on the menu screen, and when the specific function is selected, the input of a password previously written in an instruction manual for the specific function and the specific function is executed only at the time of inputting the password. For instance when a PRINT key on a keyboard 11 is depressed to specify a printing function, a control part 13 displays a menu screen on a display part 15 so that printing formats are roughly divided into reference printing and specific printing and either one of them is selected. When the specific printing which is an advanced printing function and requires complex operation is selected, the control part 13 requests the input of the password.

- COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-340160

(43) 公開日 平成4年(1992)11月26日

(51) Int.Cl.¹

G 0 6 F 15/20

識別記号

5 8 6 J 8845-5L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-30253

(22) 出願日 平成3年(1991)2月25日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72) 発明者 岩木 雅汎

東京都青森市末広町2丁目9番地 株式会

社東芝青森工場内

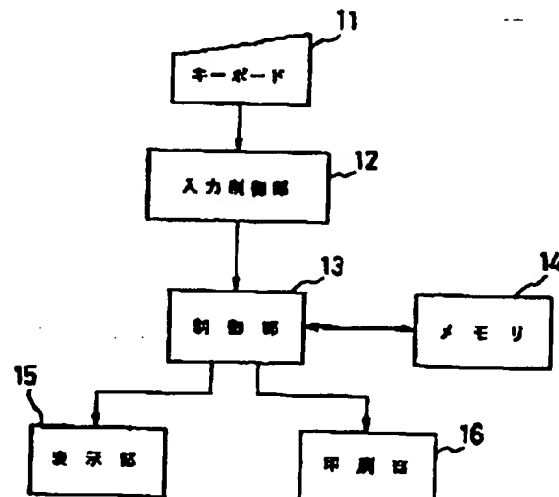
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【発明の名称】 情報処理装置

(57) 【要約】

【目的】 情報処理装置において、ユーザのレベルに応じた各種の機能の指示を可能とする。

【構成】 各種機能の選択項目を有するメニュー画面を表示して、その選択項目の中で選択された機能を実行する情報処理装置において、一般機能と特定機能に別けて上記メニュー画面を表示する手段と、上記特定機能が選択されたとき、予め上記特定機能の説明書に記されているパスワードの入力を要求する手段と、同パスワードが入力されたときのみ上記特定機能を実行する手段とを制御部13に設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 各種機能の選択項目を有するメニュー画面を表示して、その選択項目の中で選択された機能を実行する情報処理装置において、一般機能と特定機能に別けて上記メニュー画面を表示する表示手段と、この表示手段によって表示された上記メニュー画面で上記特定機能が選択されたとき、予め上記特定機能の説明書に記されているパスワードの入力を要求するパスワード要求手段と、このパスワード要求手段によって要求されたパスワードが入力されたときのみ、上記特定機能を実行する制御手段とを具備したことを特徴とする情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えばワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の情報処理装置に係り、特に各種の機能を指示する際に好適な情報処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の情報処理装置が発達し、情報処理の専門家以外の一般のユーザが多く利用するようになってきた。そこで、各種の機能を指示する際に、これまでの文字列をコマンドとして入力させる方式に代わって、図6に示すようなメニュー画面を表示し、その中から各種の機能を選択させる方式が用いられるようになった。なお、図6はワードプロセッサにおける印刷指示のメニュー画面である。このメニュー画面には、文書の印刷に関する各種機能の選択項目が表示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、近年、情報処理装置の機能は複雑化し、その種類も増加する一方である。従来、特殊な機能も含めて、各種機能の選択項目をメニュー画面に表示していた。このため、初心者にはどの項目をどのように選んでよいのが分からず、結局、機能を有効に利用できない等の問題があった。本発明は上記のような点に鑑みなされたもので、ユーザのレベルに応じて各種の機能を指示することのできる情報処理装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、各種機能の選択項目を有するメニュー画面を表示して、その選択項目の中で選択された機能を実行する情報処理装置において、一般機能と特定機能に別けて上記メニュー画面を表示し、上記特定機能が選択されたとき、予め上記特定機能の説明書に記されているパスワードの入力を要求し、同パスワードが入力されたときのみ、上記特定機能を実行するようにしたものである。

【0005】

【作用】 上記の構成によれば、一般機能と特定機能に別けてメニュー画面が表示され、特定機能については、パ

スワードの入力を必要とするため、ユーザのレベルに応じた各種の機能の指示が可能となる。また、特定機能の説明書にパスワードが記されているため、そのパスワードを知るために特定機能の説明を読むことになり、特定機能の理解度が高まる。

【0006】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明の一実施例に係る情報処理装置を説明する。

【0007】 図1はその構成を示すブロック図である。

図1において、キーボード11は各種情報を入力するためのものであり、「文字」キー、「数値」キー、「カーソル」キー等をはじめ、ここでは印刷を指示するための「印刷」キーを有する。入力制御部12は、キーボード11によって入力された情報の入力制御を行う。制御部13は入力指示に従って各種の機能を実行するものであり、ここではパスワードの入力に従って特定の機能を実行する。メモリ14は、予め特定の機能説明書に記されているパスワードを記憶している。表示部15はディスプレイ装置であり、制御部13の制御の下でメニュー画面等の表示を行う。印刷部16はプリンタ装置であり、制御部13の制御の下で文字等の印刷を行う。次に、同実施例の動作を説明する。

【0008】 例えばキーボード11の「印刷」キーを押下して印刷機能を指示すると、その指示は入力制御部12を通じて制御部13に与えられる。これにより、制御部13は図2のフローチャートに従った処理を実行する。すなわち、制御部13は、まず、印刷形態を「標準印刷」と「特種印刷」に大別し、そのどちらかを選択させるためのメニュー画面を表示部15に表示する（ステップS1）。このときの表示例を図3に示す。「標準印刷」は、一般的な印刷機能であり、簡単な指定操作で実行できる。これに対して、「特種印刷」は高度な印刷機能であり、複雑な指定操作を必要とする。

【0009】 そこで、「標準印刷」が選択された場合、制御部13は例えば図4に示すような「標準印刷」に関するメニュー画面を表示するなどして、その機能を実行する（ステップS5）。一方、「特種印刷」が選択された場合、制御部13は図5に示すようにパスワードの入力を要求する（ステップS3）。このパスワードは、「特種印刷」の説明書に予め記載されている。したがって、その説明書を読んだユーザのみがパスワードを知ることができる。制御部13は、入力されたパスワードとメモリ14に予め記憶されているパスワードとを比較し、一致した場合にのみ（ステップS4）、詳細な選択項目を表示するなどして「特種印刷」を実行する（ステップS5）。

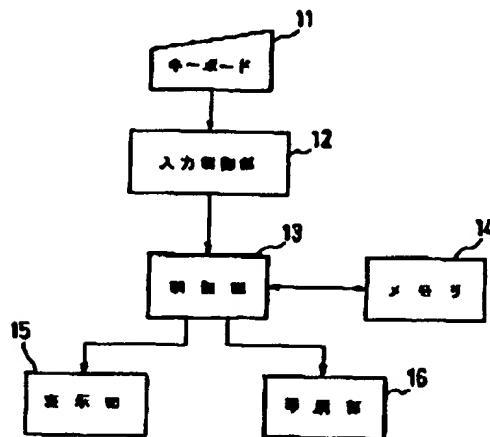
【0010】 このように、一般的な「標準印刷」と高度な「特種印刷」に別けてメニュー画面を表示するようにしたため、ユーザのレベルに応じた指定操作を実現できる。この場合、初心者が「特種印刷」を指定しても、パ

パスワードを入力しないと、それ以上進むことができない。そこで、図5に示すようにパスワードの入力要求と同時に、パスワードの記載場所として説明書の「特種印刷」の頁を指定しておけば、この「特種印刷」の説明を強制的に読ませることができる。これにより、画面が複雑になっても、容易に対応することができる。また、パスワードを入力しないと「特種印刷」を利用できなければ、ユーザの探求心を刺激して、その機能を学習させることができる。これにより、理解してから「特種印刷」を使用するようになり、不要なトラブルを避けることができる。

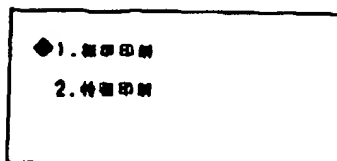
【0011】なお、上記実施例では、印刷機能を例にして説明したが、例えば書式設定等の他の機能についても同じである。また、特定機能の説明をマルチメディアの形態で画面に表示するようにしても良い。また、パスワードを記しておく場所はその機能について説明されている頁に限らず、何等かの形でその機能の説明と結び付けば良い。

【0012】さらに、パスワード入力機能を無効にする手段や、一度正しいパスワードが入力された場合に、その事実を記憶しておき、以後、パスワード入力機能を無効にする手段を追加することもできる。

【図1】



【図3】



【0013】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、一般機能と特定機能に別けてメニュー画面を表示し、特定機能については、パスワードの入力を必要とするようにしたため、ユーザのレベルに応じた各種の機能の指示が可能となる。また、特定機能の説明書にパスワードを記しておくことにより、特定機能の理解度を高め、不要なトラブルを避けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る構成を示すブロック図。

【図2】同実施例の動作を説明するためのフローチャート。

【図3】同実施例の初期時のメニュー画面を示す図。

【図4】同実施例の標準印刷時のメニュー画面を示す図。

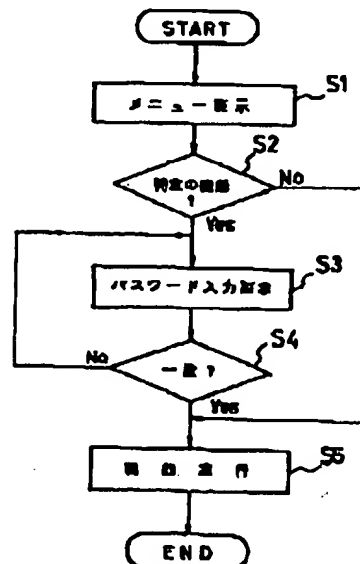
【図5】同実施例の特種印刷時のメニュー画面を示す図。

【図6】従来のメニュー画面を示す図。

【符号の説明】

11…キーボード、12…入力制御部、13…制御部、14…メモリ、15…表示部、16…印刷部。

【図2】



【図4】

